

日本女子サッカー L・リーグ2部
ASエルフェン狭山



狭山の元気 発見



チーム名の由来は、「AS」は前身のアゼリアのAと狭山、埼玉、西部のS。Elfenはドイツ語でサッカーをする人。英語(Elfin)では妖精で、女性らしいサッカーを願って命名しました

地域に密着した女子サッカーチーム

目指すはなでしこリーグ1部への昇格そして日本一

日本女子サッカー・なでしこリーグ(Lリーグ)の1部入りを目指して奮闘するチームが狭山市にあります。現在なでしこリーグの下部にあたるL2リーグに所属する、ASエルフェン狭山FCです。

エルフェン狭山は、狭山市を中心とした県西部地域出身の指導者と選手が主体のサッカークラブで、市内の小中学生で構成されるスポーツ少年団「アゼリアFC少女部」を母体として、平成3年に誕生しました。その後、県リーグ参戦から始まった挑戦は、関東リーグ、全日本選手権大会…そして平成14年からは、日本女子サッカーのトップリーグ「なでしこリーグ」へとステップアップしています。

坂の森運動公園を利用した幼稚園サッカー大会や親子サッカー教室、身障者との練習試合などのほか、入間川七夕まつりでキックターゲットやサッカーボールリングを行うなど、地域とのふれあいを大切にしながら活動を続けています。

「日本では女子のプロ選手自体が少なく、エルフェン狭山にプロ選手は一人もいません。さらに、監督やスタッフまでもがボランティアです。選手たちの普段の顔は、高校生や大学生、そして社会人。日中は勉強や仕事、夜は練習と休む間もありません。そして週末になれば試合か練習です。L2リーグに所属しているチームは、熊本や兵庫、新潟など全国に点在しているため、遠征試合になると飛行機や新幹線などを使いますが、費用は選手が負担することがほとんど。それでも、サッカーとエルフェンが好き、トップリーグ(L1)に上がりたい」との強い思いが支えとなり、つらさなどは感じることがないと、チームのだれもが思っています。

エルフェン狭山の2005年の成績は7チーム中4位、上位との実力差は少しいた。集中力が途切れてしまった試合があつたので、「悔しさを顔ににじませ、目指すのはL1リーグへの昇格と、日本一です」とキャプテンの佐藤舞さん。その目は、今年の目標をしっかりと見据えています。



入間川七夕まつりでは、子ども達のふれあいの場!

狭山市を本拠地に構え、地域に密着したASエルフェン狭山「サポーターの応援が大きいと、普段より力が出せますし、励みにもなります。一人でも多くの方に試合を観て欲しいですね」と笑顔を決やさず、スポーツをとおして地域の皆さんに貢献したいと頑張る彼女たちに、皆さん、ぜひ声援を送ってください。

エルフェン狭山は、L1・2リーグに所属しているチームの中では唯一、スポンサーを持たずNPO法人として活動しています。このチームが目指しているのは、「地域に根づいた」サッカークラブ。だからこそ、試合だけでなく、ホームグラウンドの赤



郡司掛信夫さん
(奥富在住)

奥富地区では犯罪の抑止と防犯意識を高めるために、防犯パトロールを行っています。ご近所の方にも防犯を意識してもらえれば、犬の散歩やジョギング、

ウォーキングなどで外出するときに、腕章や防犯チョッキなどを着用してもらう「防犯サポーター」を募集し、活動を行っています。

また、奥富地区以外の犯罪や事故などの速やかな情報提供があればと思います。具体的な犯罪事例を知ることができ、事前に対策を練ることができ、ほかの自主防犯組織との交流ができれば、

市での考え方
貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。犯罪や事故などの情報提供は、地域防犯推進委員に、狭山警察署発行のAPOC通信「地域ネットワーク」で、近隣の情報を含めて、FAXやEメールで配信しています。これから、少しでも早い情報提供を行いたいと考えています。また、市内のアポック6団体と、各自治会ごとで防犯パトロールを行っています。各組織間での連絡の必要性があることから、ご意見のとおり、今後、防犯の意見交換や防犯会議などの開催を考えます。

担当 交通防犯課

地域の防犯・子ども達を守るために

一人ひとりが防犯意識を持ちましょう



祭りのクライマックスには神輿が登場

秋祭り当日は、各自治会が趣向を凝らした模擬店を出店。また、神楽殿ではお囃子、広場では大人と子ども神輿や踊り、そしてカラオケ大会と、老若男女だれもが楽しめるお祭りとなりました。さらに、祭りの最後には抽選会が行われ、地域みんなで楽しくにぎわいのある一日を過ごしました。

くわがや 青柳地区

青柳地区5自治会

Assistant Language Teacher



Nathan Prestidge
ネイスン・プレスティッジ
(西中学校勤務)

ニュージーランド出身
狭山市のALTとして勤務は2年め
趣味はラグビー、スポーツ

In the 6 years I've been in Japan I was lucky enough to spend 3 of them in Sapporo. Sapporo has a population of about 1.8 million and in all of the cities I've been to in Japan I think it is the most beautiful. During the summer the temp is around 25 degrees and everything is green - there are many parks and places we can enjoy playing sports, bbq etc. In June a Yosakoi festival is held and teams from Japan, Korea and China all take part. Another great place to visit is the "Sapporo Beer Hall". There, we can enjoy eating delicious jingiskan!! If you have not been to Sapporo in the summer please go. You'll love it!!!

日本滞在6年間のうち、3年を札幌で過ごせたのは幸せなことでした。札幌の人口は約180万人で、私が日本で行ったことのある場所の中で最も美しいところです。

夏の間、気温は25度前後で、緑でいっぱいになります。公園やスポーツ、バーベキューを楽しめる場所がたくさんあり、6月にはよさこい祭りが開催され、日本、韓国、中国などから踊りのチームが参加します。もう一つ素晴らしい場所が札幌のピアホールです。とてもおいしいジンギスカン料理が堪能できます。

みなさんがもし、夏に札幌に行ったことがなければ、ぜひ行ってみてください。好きになるとおもいますよ。(英文の要約)

広報課では、皆さんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、必ず住所、氏名、電話番号をご記入ください。
☎2954 6262代 Eメール koho@city.sayama.saitama.jp